



4/12 災害を乗り越えて 富納堰しゅん工式

泗水町富納・永地区の「富納堰」しゅん工式が地元の受益者をはじめ関係者 50 人が参加し行われました。平成 24 年 7 月 12 日に発生した九州北部豪雨により被災した富納堰は、事業費およそ 1 億 8 千万円、工事期間約 1 年をかけて被災前に比べより強固なものとして生まれ変わりました。

建設委員長の古荘芳郎さんは式典で「甚大な災害を乗り越えて復旧したこの堰を、代々守り続けていきたい」と述べました。



多くの関係者が集まり堰の竣工を祝いました

4/11 みんなで楽しく BBQ 菊池高校新入生歓迎会

菊池高校生徒 580 人と PTA や市民が集まり、生徒会主催のフットパス&千人バーベキューがありました。新入生歓迎に併せて菊池の自然や歴史、農産物を学ぼうと企画したもので、生徒たちは豊間フットパスコースを初体験。菊池市民広場で行われたバーベキューではおいしそうに肉を頬張っていました。コースを案内した中村忠義さんは「生徒たちが真剣に話を聞いてくれてうれしかった。もっと菊池の良さを知ってもらいたい」と語りました。



フットパスの後バーベキューを楽しむ生徒たち

4/6 地域の防災力を強化 北宮区防災訓練

北宮自主防災会主催による防災訓練が行われ、約 30 人が参加しました。北宮自主防災会は 3 月に結成され、初の訓練を実施。菊池広域連合北消防署の職員を講師に招き、水消火器の使用や粉末消火器による実際の消火訓練のほか、毛布を使った担架の作り方など体験型の訓練が行われました。

参加者からは、「自宅に消火器はあるが実際火災が起きて使える自信がなかったので、訓練ができて良かった」などの声がありました。



毛布で作った担架を使用しての訓練

4/4 交通事故ゼロを目指して 春の交通安全運動出発式

4 月 6 日から 15 日まで行われる「春の全国交通安全運動」に伴い、春の交通安全運動出発式が菊池市民広場で行われました。当日は、交通安全関係団体の関係者など多数参加。交通安全功労者等の表彰の他、菊池南中学校吹奏楽部による演奏、菊池ひかり保育園園児による交通安全宣言などがありました。式典終了後は、菊池南中学校吹奏楽部を先頭に商店街で街頭啓発パレードを行い、交通安全を呼び掛けました。



春の交通安全運動街頭啓発パレード

4/19 大きく育て! 西部の森で植樹会

西部電気工業（福岡市）が旭志の市有林にヤマモミジ、ヤマザクラの苗 1,600 本を植樹しました。この活動は「西部の森づくり活動」の一環として、平成 22 年から同社と市が森づくり協定を締結し、植樹や草刈りに取り組んでいます。

今年で 5 回目を迎え、今まで 8,100 本の木を植えてきました。今回は、社員とその家族、市職員ら約 470 人が斜面に分散し、大きく育つようにと願いを込めて苗木を植樹しました。



たくさんの方が森づくりに参加しました

4/14 大きいタケノコみ~つけた! 菊池北小タケノコ掘り体験

菊池北小学校（釘山正二郎校長）の 4 年生約 50 人が、黒谷光臣さん所有の竹林でタケノコ掘りを体験しました。

この体験は今回で 16 年目。児童たちは、黒谷さんをはじめ地元の皆さんからの指導を受けながらタケノコ掘りに挑戦。大きなタケノコを掘り当てると、重たそうに持ち上げて喜んでいました。収穫したタケノコは、約 120kg にもなり、給食の食材などに使われました。



掘り方の指導を受ける児童たち

4/8 七城温泉ドーム 来場者 650 万人達成!

七城温泉ドームの来場者数が 650 万人を達成し、記念式典が行われました。650 万人目となった来場者は道崎マツエさん（熊本市）。服部英治代表取締役から、七城温泉ドームペア宿泊券、七城米 10kg と花束が贈られました。ご主人の勉さんと二人で訪れたという道崎さんは「10 年前から利用しています。夢みたいです」と喜びを語りました。この日は 650 万にちなみ、650 人の来場者に紅白まんじゅうが振る舞われました。



服部代表取締役から花束と商品を受け取った道崎さん

4/7 高山和子さんへ法務大臣 感謝状贈呈

3 月末まで人権擁護委員を 4 期 12 年務めた高山和子さん（戸豊水）に、法務大臣から感謝状が贈られました。

高山さんは市役所退職後すぐに同委員に委嘱され、市民課や人権担当課の経験を生かしながら啓発活動に尽力。さまざまな人権に関わる相談業務、小学校や社会福祉施設などで活躍し、人権思想の普及高揚に貢献しました。

表彰おめでとうございます。



左から近藤安隆熊本県山鹿人権擁護委員協議会会長、丸野隆司熊本地方方法務局山鹿支局長、高山さん、江頭市長



5/13 菊池地区学校給食 共同調理場落成式

菊池地区学校給食共同調理場落成式があり、関係者など約50人が参加しました。建設費は約8億円。衛生管理や作業効率が良いフルドライシステムを採用し、衛生面や安全面の向上を図っています。式典で江頭市長は「安心・安全な給食の他、研修室や見学施設など食育にも役立つ施設ができた。子どもたちの健全育成につなげたい」とあいさつ。試食会にはPTAなど約100人が参加し、見た目や味付けなどに関するアンケートに記入していました。



新調理場で作られた給食を試食する保護者の皆さん

5/10 菊池高生から挑戦状! 菊翔祭で綱引き対決

菊池高校(西本守校長)の菊翔祭体育の部が同校グラウンドで開催され、市民と生徒による綱引き対決が行われました。この対決は生徒会などで行く実行委員会が企画したもので、保護者との対戦だった昨年までの形式を変更し、地域との絆を深める場としました。生徒たちは、挑戦状を受け取った市役所、観光協会など計5チームと対戦。人生の先輩を前に惜敗しましたが、最後まで明るい笑顔を見せていました。



菊池高生と対戦する市民チーム

4/28 七城鴨川河畔公園に 大型遊具が誕生

七城鴨川河畔公園に設置された大型遊具の安全祈願祭とオープニングセレモニーが開催され、関係者など約110人が参加しました。安全祈願祭の後、江頭市長が「自然豊かな公園でのびのび遊び、健やかに育てほしい」とあいさつ。セレモニーには七城町内の幼稚園・保育園の年長児も参加し、合唱やテープカット、風船飛ばしを行いました。終了後、園児たちは新しい遊具に目を輝かせながら夢中になって遊んでいました。



園児と参加者で行われたテープカット。初すべりは加茂川保育園の宮崎優奈ちゃん

4/22 ド・ローラ節子さんが 菊池市を訪問

20世紀最後の巨匠と呼ばれたフランス人画家・故バルテュスの夫人で、菊池一族の末裔に当たる節子・クロソフスカ・ド・ローラ(出田節子)さんが、6月22日まで東京で開催中の「バルテュス展」に合わせて4年ぶりに本市を訪問しました。節子さんの希望もあり、孫の仙くんの七五三のため、一族ゆかりの菊池神社を参拝。市役所を訪問した節子さんは「菊池市は美しく豊かな自然の宝庫。世界に向けてPRしてほしい」と話しました。



江頭市長を敬訪問した節子さん

5/15 第3セクター連絡協議会が 小学校へ図書カードを寄贈

市内の道の駅や温泉施設などの6施設で構成する菊池市第3セクター連絡協議会(杉田貞治会長)が、市内の10小学校へ142枚の図書カードを贈りました。同協議会は集めたレシート総額の0.1%を還元する「本を贈ろう運動」を平成22年から毎年実施しており、今回で5回目。校長会を代表して旭志小学校の吉田栄二校長に図書カードが贈られました。杉田会長は「今後も子どもたちの健全育成に貢献したい」と述べました。



吉田校長に図書カードを手渡す杉田会長

5/13 ブラジル移住者の皆さんが 菊池市を訪問

ブラジル在住の熊本県移住者とその子孫の人たちが所属するブラジル熊本県文化交流協会(田呂丸哲二会長)の会員19人が本市を訪問し、市民との交流を楽しみました。

交流会の皆さんは市役所を訪れた後、菊池高校前の旧松倉邸で日本の伝統文化や野点を体験。初めて体験する日本伝統の遊びや和菓子作り、お茶を楽しみながら、市民団体や野点を披露した菊池女子高生と親睦を深めました。



旧松倉邸で日本伝統の遊び「投扇興」を体験する協会の皆さん

5/1 健やかに育て! 迫間川で鯉の滝のぼり

迫間地区の前田橋付近に14匹の鯉のぼりが架設され、式典が現地で開催されました。菊池教育会(木原昭三会長)が企画したもので昨年に続き2回目。式典には住民や菊池さくら保育園の園児、関係者など約80人が出席。迫間川上流に見える滝と迫間橋(市指定文化財)に向かって泳ぐ鯉の群れを觀賞しました。式典後は、園児たちを川を上る鯉に見立て、参加者が手を取り上流へと次々に運びながら健やかな成長を願いました。



木原会長作の「鯉の滝のぼり」を合唱する菊池さくら保育園の園児たち

4/30 県と市の税務職員併任協定に伴う辞令交付式

県と本市の税務職員併任協定に伴う辞令交付式が市役所であり、県北広域本部総務部収税課職員5人に木村利昭副市長から辞令が交付されました。この協定は、県市税の徴収率向上を目的に締結したもので、期間は平成27年3月31日まで。併任職員は県税と市税両方の徴収事務が可能になり、月5日程度、市内の地方税滞納者を対象に徴収事務を行います。木村副市長は「徴収率向上のために力を合わせて頑張してほしい」と激励しました。



木村副市長から辞令を受け取る県職員